

# 白蘭



白蘭小学校 学校便り  
第2号  
平成31年4月25日(木)

## 【学校教育目標】

- 深く学ぶ子
- 心豊かな子
- 健康な子
- 未来をつくる子

## 全校参観日等 ありがとうございます。

室蘭市立白蘭小学校 校長

4月19日(金)は全校参観日並びに学級懇談・PTA総会にご出席いただき誠にありがとうございました。そして、PTA総会の校長挨拶では、「令和元年度グランドデザイン」と「コミュニティ・スクール」について説明させていただきました。グランドデザインでは、学校教育目標実現のための育成を目指す「4つの資質・能力」について説明しました。(案内配布済)

- 1 言語能力 → 国語だけでなく、すべての学習の基盤となる力。
- 2 他者意識 → 相手のことを意識する。挨拶、学習中の発表など幅広い場面で大切になるもの。
- 3 健康力 → 運動能力だけでなくバランスのよい食事や睡眠等、健康を維持・増進する力。
- 4 粘り強さ → あきらめずに物事に取り組む力。学習・運動だけでなく、生きる力につながる。

例えば、「4 粘り強さ」では、算数の計算問題を例に説明しました。下のように「全国・学力学習状況調査」でも毎年のように出る「 $80 - 60 \div 2$ 」のような問題があります。

### 【誤答】

$$80 - 60 \div 2 = 10$$

### 【正答 ア】

$$80 - 60 \div 2 = 50$$

### 【正答 イ】

$$80 - 60 \div 2 = 80 - 30 \\ = 50$$

わり算を先に行う決まりなので、【誤答】は、 $80 - 60$ を先にやっしまい、 $20 \div 2 = 10$ と導き出してしまったことで生じる誤答例です。正答【ア】は、頭の中で計算し、即座に答えを導き出しているという視点においては、素晴らしいことです。しかし、【イ】のように粘り強く途中の計算を書くと、間違い等を見直す時の質が向上し、正答になる確率が【ア】より高くなります。また、このことは、より計算の過程が複雑になる中学校の数学に向けてもよい習慣であると言えます。このような「計算の途中を書く」という学習に向き合う姿勢も「粘り強さ」の一つの姿ととらえています。

今年度、この4つの資質・能力を育むことを重点に、学校では全力を尽くします。そのためにも、保護者の皆様・地域の皆様も同じベクトルで子どもの成長を見守り、学校をサポートしていただけるとさらに子どもたちの力も伸びるものと確信しております。「グランドデザイン」には、そのような「子どもを中心とした学校・保護者・地域・関係機関のよりよい連携の姿」が表現されていますので、ぜひ、ご覧ください。平成31年(令和元年)度も本校の教育活動へのご支援・ご協力どうぞよろしくお願いいたします。



### 【新しい取組等の連絡】

- 1 放課後算数学習 → 3年生以上で5月から始めます。案内配布済。
- 2 図書サポーター → 保護者の皆様のご参加をお待ちしております。案内配布済。
- 3 理科TT → 5・6年生で特別支援学級・通常学級担任の連携で始めます。